

防災・防犯グッズ総合ショップ

Be-kan 備館

<https://www.be-kan.com/>

東京都中小企業振興公社 助成金 対象製品

BCP 策定（災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画）

HTT 電力を **①へらす** **②つくる** **③ためる**

災害 モバイル充電ステーション

Luminaguard

ルミナガード

消火器

FIRE EXTINGUISHER

使用法 DIRECTIONS

普通 油 電気火災
(A, B, C 火災全般)



命をつなぐ充電ステーション
未来の防災拠点



多端末対応充電



バッテリー内蔵



停電時照明



1台でスマートフォン25台分が充電可能

4台あれば、100人分の充電ライフライン確保に貢献



無接点充電機能

置くだけで充電できる
ワイヤレス充電を装備



バッテリー残量表示

停電時でも一目でわかる
バッテリー残量表示



USB 充電コネクタ

USB Type-A : 3つ
USB Type-C : 2つ

企業による新しい社会貢献

災害時にライフラインを守る。 行政と民間の新しい協力体制の形。

災害時帰宅支援ステーションの重要性

日本は地震や台風などが頻発する「災害大国」です。災害が発生すると、ライフラインの確保が大きな課題となります。そこで、災害時にはコンビニや駅が「災害時帰宅支援ステーション」として機能しています。

ライフラインの確保が課題

災害時、多くの人が同時に連絡を取ろうとするため、電話やインターネットが繋がりにくくなります。このような状況下では、無料の災害用 Wi-Fi「00000JAPAN(ファイブゼロジャパン)」が利用可能になり、回線が混雑している場合でも、SNS やメールを使った安否確認がしやすくなります。この災害用 Wi-Fi が利用できる公共施設や駅、コンビニ周辺は重要な防災拠点となります。

充電ステーションの圧倒的不足

災害時には通話制限がかかり、電話が繋がりにくくなる一方で、データ通信は制限対象になりにくい。ため、メールや SNS での連絡が可能なケースが多く見られます。こうした状況下での安否確認や情報収集を迅速に行うには、スマートフォンの使用が不可欠です。

災害時の重要なライフラインであるスマートフォンですが、充電を行える場所が圧倒的に不足する状況となります。

そこで民間と行政が協力して街中に「災害モバイル充電ステーション」設置を提案いたします。



エッジライト

煙や暗闇の中でも消火器の位置を明確に示します。(停電時 30~40 時間点灯)

無接点充電機能

置くだけで充電できるワイヤレス充電を装備

USB 充電コネクタ

USB Type-A : 3つ
USB Type-C : 2つ

バッテリー残量表示



災害モバイル充電ステーション Luminaguard

ルミナガード



安全性の高い
「リン酸鉄リチウムイオン電池」
を採用。

サイズ	300×300×800 mm
重量	約5Kg
電源方式	バッテリー内蔵 + AC 給電
電池容量	256Wh (12.8V 20AH リン酸鉄リチウムイオン電池)
エッジライト点灯	停電時も点灯可能
USB 充電ポート	5USB ポート + 無接点充電機能搭載
メンテナンス頻度	バッテリー交換(約5年)



解説動画

正規販売代理店

株式会社 Be-kan

〒106-0041 東京都港区麻布台1-9-10 飯倉ITビル10F

TEL:03(6230)9968 FAX:03(6230)9986



お問合せ